



バナナペーパーについて①

「バナナペーパー」は、アフリカ南部にあるザンビアで生産されたオーガニックバナナの茎の繊維に、古紙または森林認証パルプを加えて作られた紙です。これまで廃棄されるだけだったバナナの茎を再利用し、貧困に悩む村に雇用を生み出すなど、SDGs(Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標)の達成につながる特徴を持っています。

ザンビアのエンフエ村では、女性たちがバナナの茎の繊維に含まれる水分を除去し、乾燥させる作業を行っています。この仕事のおかげで雇用が生まれ、子どもたちが学校に行ったり、マラリアを予防するための蚊帳を買ったり、電気のない家にソーラーランプをつけたりすることができるようになりました。

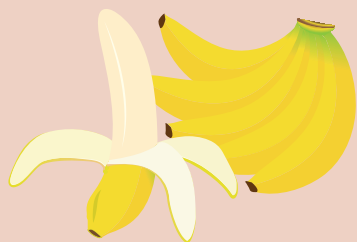
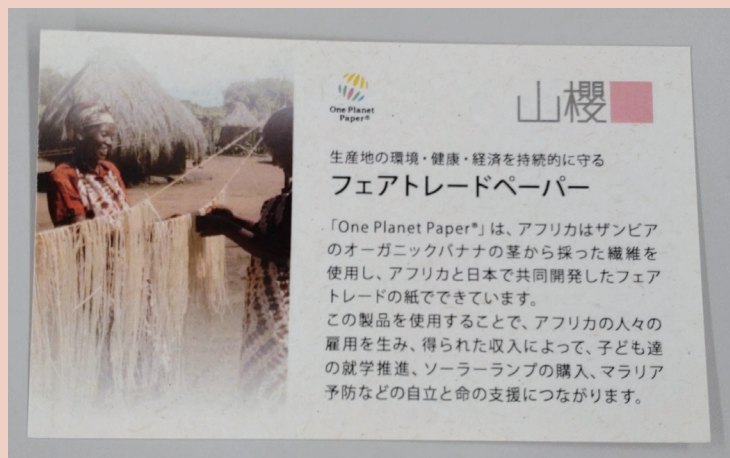
世界では毎日約100万トン(※1)の紙が使われていま

す。そして、私たちが日常的に使用している紙の約90%は「木」を主原料としています(※2)。経済の発展に伴い、世界中で大量の紙が消費されるようになりましたが、木の再生が追いつかず、世界では毎年、日本の国土面積の3分の1ほどの森が失われています(※3)。そのため、森に住む生きものの減少や生態系破壊など、さまざまな環境問題が起きています。

一方、バナナは世界の約125ヶ国で栽培され、多くの人々の栄養源となっています。バナナを収穫する際は、新しい果実を育てるために古い茎を切らなければなりません。一般の木が10～30年かけてゆっくり再生するのに対し、切った茎は1年以内に再生し、新しいバナナの実になります。つまりバナナペーパーは、サステナブルな仕組みの中でつくられているのです。

※1・※3 WWF2008-2010

※2 ワールドウォッチ研究所 2004



OK アドニスラフ 80
65.5kg
を使用しています。



発行/株式会社 立川紙業 〒190-0022 立川市錦町 4-5-26 / TEL : 042-527-6111 (代)
FAX : 042-528-0080 / HP : www.kami.jp / MAIL : tp@kami.jp



今回はブラッド・スポーツと称される競馬レースの中から、凱旋門賞を紹介します。

フランスのパリロンシャン競馬場で毎年10月の第1日曜日に開催され、距離は芝2400m。ヨーロッパ最大のレースの一つであり、国際的に著名なスポーツの催しです。「英ダービー」「キングジョージ」とともに、欧州三冠レースに数えられます。

出走条件は3歳以上の牡馬・牝馬。負担重量は3歳牡馬は56.5kg(牝馬は55kg)、4歳以上牡馬は59.5kg(牝馬は58kg)で、フルゲートは20頭です。

日本でいう「日本ダービー」「オックス」「ジャパンカップ」にあたる非常に人気のカテゴリーで、競馬に詳しくない方でも一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

1920年の設立当初はヨーロッパNo.1を決めるレースを目標としていましたが、初めの30年間ほどは国外の一流馬の参戦はなく、また、開催日が「キングジョージ」と1週の差しかなかったため、馬の奪い合いになっていました。

転機となったのは1949年。大幅な賞金増によって世界のホースマンから徐々に認知されるようになり、これに伴い「キングジョージ」

が開催日を変更。国内外の一流馬が参戦しやすくなり、レース自体の質もアップ。その結果、凱旋門賞は世界一を決めるレースとして世界が注目するビッグレースになりました。

凱旋門賞の成功にならって、今では世界各地で芝レースだけではなく、ダートレースでも高額な賞金レースが行われています。

近年では日本の馬も出走することから、毎年テレビでも中継されるようになりました。今年も10月に開催される予定なので、ぜひ観戦してみたいはいかがでしょうか。

最後に昨年までの歴代優勝国を紹介します。

	フランス	69勝
	イギリス	15勝
	アイルランド	7勝
	イタリア	7勝
	ドイツ	3勝

(配送2課)

業界の動き

国内 4 大メーカーの新規路線

国内製紙4大メーカーは循環型社会の構築や2050年の脱炭素に向け、紙を原材料にした商品の開発を進めている。

日本製紙は紙ならではの質感や風合いをメインに、無添加チョコの鮮度や香りを保持する機能、防水機能も併せ持つ「シールドプラス」を発表。

王子ホールディングスは「非可食性材料」を自社開発し、低コスト化を目指している。紙コップや牛乳パックの内側のラミネート材を植物由来にしたサンプル提供を開始。SDGsの達成、2050年の脱炭素に向け、将来懸念される食糧危

機も視野に入れた開発を進めている。

三菱製紙は、高いバリア性を持つ包装用コート「バリコート」を拡販する。ロッテの新製品チョコレートほか、今後はコーヒーの包装材としての需要を見込む。

大王製紙は、プラスチックやフィルムの代替えとなる紙包装材商品群「エリプラシリーズ」をブランド化。ハンガーや弁当の容器、マドラーなどを販売している。

22年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法の下、各メーカーはプラスチックの過剰な使用と廃棄を見直し、紙を原料とする素材への転換を進めている。

今月の使用紙

OKアドニスラフ80

素材感のある色相と肌感がどこか懐かしい、王子製紙(株)の嵩高中質紙アドニスラフシリーズ「OK アドニスラフ80」を使用しました。温かみのある白さを追求して白色度は80%を実現。かつての中質紙をはるかにしのぐ印刷再現性もセールスポイントです。

■規格	米坪 (g/m ²)	紙厚 (μm)	四六判(788×1091)				B判(765×1085)				A判(625×880)			
			連量(kg)	T目	Y目	連包	連量(kg)	T目	Y目	連包	連量(kg)	T目	Y目	連包
	69	125	59.5	—	●	250	57	—	●	250	38	●	●	250
	76	140	65.5	—	●	250	63	—	●	250	42	●	●	250
	85	155	73	—	●	250	70.5	—	●	250	46.5	●	●	250

米坪 (g/m ²)	紙厚 (μm)	巻取 625×(880)		巻取 1085×(765)		巻取 1250×(880)	
		連量(kg)	入数	連量(kg)	入数	連量(kg)	入数
69	125	38	7.5	57	8.6	76	7.5
76	140	42	6.9	63	7.9	83.5	6.9
85	155	46.5	6.2	70.5	7.1	93.5	6.2

PICK UP

定番デザインが充実した
山櫻「2023年 卯年 年賀デザイン集」が発売！

株式会社山櫻では5月23日に「2023年 卯年 年賀デザイン集」を発売予定です。
今年は268点のデザインをご用意。ビジネスで使いやすいものが多いのが特徴です。
また余白を多く設け、賀詞や住所などをレイアウトしやすくしています。



筆文字をリニューアル！

昨年デザイン集から筆文字をリニューアル。より読みやすく、気品ある文字となりました。
(※文字によっては昨年の文字を使用しているものもあります)
年末までまだ時間はありますが、今のうちから早めにご検討されてみてはいかがでしょうか？

